

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/08/25 ～2019/9/30)

1. 勉学の状況

今回が初めての報告書ということで簡単に自己紹介をしたいと思います。私は国際教養学部二年生です。私がストーニーブルック校を選んだ理由はエンターテインメントと理系関係のことを同時に学べるからです。ニューヨークはエンターテインメントにおいて世界のトップに位置し、娯楽が人々に広く浸透しているため留学先として最適だと考えていました。また私は環境問題に関心があり、多くの授業が研究の時間を必須としているストーニーに留学すれば日本以上に深く学べる機会があると思い留学を決めました。

ストーニーブルックは秋学期(8月末~12月)と春学期(1月~5月)の二つのセメスターに分かれています。21日から留学生向けのオリエンテーションがあり、25日から秋学期が始まりました。履修する授業については渡航前からある程度決まっていたのですが、Prerequisitesが必要な授業がほとんどで、履修登録ができない状況でした。教授に直接メールで交渉したり、学部のオフィスに直談判しに行ったりなどしてようやく授業を決めることができました。またアメリカの大学には授業や先生の評価が見れる公式サイトがあり、それを見ながらどの授業を履修するか決めているようです。食べログのように5段階で生徒が評価していて、とても参考になりました。履修登録にとっても苦労し、希望していた授業がほとんどとれませんでしたが、履修できた授業を頑張っていきたいと思います。

今学期登録した講義を紹介します。

- ①「Rethinking America」
- ②「Introduction to Digital Art」
- ③「Introduction to Sustainability」
- ④「Undergraduate Teaching Practicum」

です。4つだと日本の感覚では少なく感じますが、一つ一つの授業が1回3時間程で、週に2回以上あるので時間数的には日本と変わらないです。

① 「Rethinking America」

アメリカの社会背景を様々な視点から考える授業です。Family, Dating, Health, Businessの4つの分野についてアメリカの現状を学び、他国と比較をしたり、ディベートをすることによってより考えを深めていきます。Familyに関する題材として「Cohabiting before marriage」に関するディベートをしましたが、クラスメイトの論理的な主張には圧倒されました。

② 「Introduction to Digital Art」



講義と lab の時間がある授業です。講義の時間はアートの歴史や考え方、作品を作成する際に必要な技術を学びます。Lab では実際にパソコンを使って、有名なアート作品をアレンジしたり、外に出て作品に使えるような写真を撮影し、グループで一つの作品を仕上げたりしています。また毎週の課題として作品提出と write-up があります。

↑ [master remix]

左から [something new, something old],
[group project] →



② 「Introduction to Sustainability」

環境問題について気候変化、水、土地など様々な観点から考える講義です。この授業で驚いたのは生徒の積極性です。60 人以上の講義にも関わらず、教授が質問を投げかけるとぱっと手を挙げて答えたり、疑問があったらその場で発言したりと日本では見られない光景だったのでとても驚きました。

③ 「Undergraduate Teaching Practicum」

日本語の授業の TA をしています。日本人からみても日本語を学ぶのは難しいと思いますが、履修している生徒は毎回の授業前のテストをしっかりとこなしていてすごいと思います。毎週日本語会話が必須なのですが、話していると日本に興味がある人が多くとてもびっくりしています。

どの教科も毎授業ごとに課題が出たり、小テストがあるので効率よくこなしていかないといけないと思っています！

2. 生活の状況

✓寮について

Single roomが6つある寮に住んでいます。スイートメイト(共有スペースやシャワーを一緒にシェアする人)は一人がロンドンからの留学生、残りの4人がニューヨーク出身の4年生です。



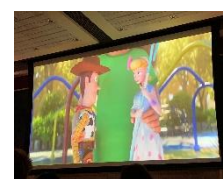
✓キャンパスについて

キャンパスを一言で表すなら「広すぎる！」です(笑) 大学内にはホテル、病院、ダイニングがいくつか、スタバが3つあったりととにかく規模が大きいです。私の寮から教室やアクティビティーセンターまでは歩いて20分程かかるので、基本的にはバスを使って移動しています。ニューヨークと言うとすごく都会のイメージがあると思いますが、ストーンブルック校があるロングアイランドはとても田舎です。星空がすごくきれいに見えたり、りすやうさぎ、鹿も校内に生息しています。シティーのように気軽にショッピングなどはできない分、キャンパスに様々な施設を設けることで生活を充実させようとしているみたいです。ジムをはじめ、映画館、美術館など日本では考えられない施設がたくさんあります。ジムでは無料のヨガ教室やズンバ教室が開かれているので参加しようかなと思っています！

✓イベントについて



大学内では様々なイベントが開催されています。移動型の遊園地が来たり、映画鑑賞会などたくさんあります。イベントではピザやチュロス、ポップコーンやチップスなどがすべて無料で食べれるのでとてもありがたいです。



上から[Toy story 4][Aladdin]→



✓クラブについて

サークルはあまり活発な印象はないです。どのクラブもGBM(General body meeting)が週に1回、一時間程ととても短いです。私はUNICEFとテニスとバドミントンに参加しようかなと

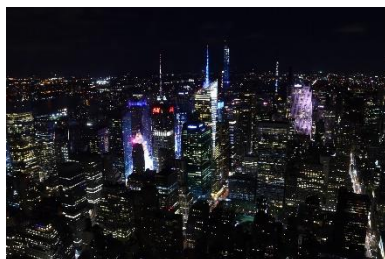
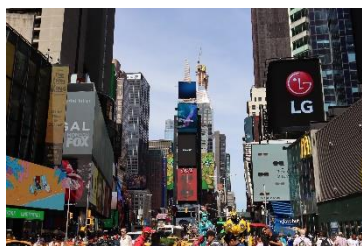


考えています。

[UNICEF でのディベートの様子]→

✓ニューヨークシティーについて

ストーニーからのシティーまでは電車で二時間ほどかかります。乗り換えは 1 回でいいので楽ではあります。9月の土日はとにかくシティーに通いまくりました(笑) 念願のミュージカルを見たり、タイムズスクエアに行ったり、自由の女神を見たりと観光客っぽいことをたくさんしました。地下鉄がすごく複雑で、時刻表が存在するというよりは、あと何分で到着という表示の仕方なので大変でした。改めて日本の電車はすごいなあと感じてしまいました。あとなによりも臭いがきつい！地上に出た瞬間異臭がしたりと汚い印象を受けました。でもやっぱり世界都市！たくさんの魅力が詰まってるなと思いました！



ニューヨークと言えばの観光名所

- ・自由の女神
- ・タイムズスクエア
- ・エンパイアステートビルからの夜景

Smorgasburg Williamsburg

ラーメンバーガーはここで発祥したようです
色んな飲食店が出店されていて歩くのが楽しかったです



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/10/1 ～2020/1/20)

1. 勉学の状況

こちらに来て初めての学期、Fall semesterが無事終わりました。

アメリカの学生は勉強への意識が高いということを感じた4か月間でした。アメリカは授業がレベル順に100、200、300、400、500番台となっています。確かに100、200番台の基礎の授業レベルは日本の方が高いと思います。しかし、生徒の授業に対する意識や集中力は日本に比べ、とても高いなと思いました。基本的に大学の周りは田舎なので遊びに行く、ご飯を食べに軽く学校外に出るといった習慣がありません。また日本ほどサークルやクラブ活動が盛んではないため、生徒は基本的に常に勉強をしています。日本の多くの授業は1セメスターに数回のテストで終わりですが、アメリカのほとんどの授業は毎週何らかの課題が出たり、毎授業小テストがあったりします。そのうえで何回かの大きなテストがあるので常に勉強せざるを得ない状況です。また、一個一個の授業内容が重く、週に2回か3回同じ授業を受講する仕組みになっています。このような学習形態がアメリカの学生が大学時代に学力を飛躍的に伸ばす鍵なのかもしれません。

授業に関しては、日本ではなかなか見られない積極的な挙手や発言、意見交換を生徒が自然に行っている様子を見るのはとても新鮮でした。少しでも疑問があったら挙手をして質問したり、授業に役立つ情報だと思ったらクラスのみならず共有したりするのは日本では見られない光景だと思いました。また自分がいいと思ったらいい、悪いと思ったらここを改善すべきだとはっきりとクラスメイトに伝え合うのもアメリカならではのなと思いました。また何より驚いたのが背景知識の広さです。世の中の時事問題を自然と授業のディスカッションに持ち込んで、それを誰もが当たり前のように認識しているのは素晴らしいなと思いました。と同時に、自分自身の知識不足を実感しました。もっともっと世の中のことを知らなきゃいけない、自分から知ろうと行動していかなきゃいけないのだなと思いました。アメリカで生活していると、いかに自分が物事に対して受け身だったのかを痛感しています。アメリカでは自分から何か行動しないと本当に放置されるので、大変良い刺激となっています。

私が取った今期の授業はfinal examより、レポートが多かったため、他の生徒より少し早めに今期を終えました。授業の一つに自分自身でシステムを作り、それが世の中の環境問題にどのように影響するのかを明確にし、プレゼンするものがありました。自分自身のシステムを上げることはもちろん、その具体的な内容、それを進めていく上でどのような影響があるのかをパートナーに英語で説明するのは苦労しました。大まかな内容は説明できるのですが、専門的な細かい内容を説明するのは至難の業でした。しかし、パートナーは私の話をしっかりと聞いてくれ、

私が言いたいことを理解してくれようと努力し、こういう意味だよね？と違う言い方に変換してくれるなど優しく対応してくれました。プレゼンを終えた後には今までにはない大きな達成感を感じることができました。

Spring semester では、自分が興味のある分野をより専門的に学んでいきたいと考えています。日本では国際教養学部には所属しているのですが、2年生のうちには専門的な学問を学ぶ機会がありませんでした。そこでアメリカにいる間、具体的で専門的な新しい分野に挑戦できればなどと考えています。Spring semester の授業はいくつかの授業でまだ悩んでいますが、実際に野外で天体観測を行う Astronomy や Chemistry laboratory、日常の問題を統計で解決する授業などを候補に挙げています。日本人の留学生で国際教養学部には所属している友人は、具体的に自分が深めたい分野を決定してきているので、私も残り半分の留学生活でゆっくり自分を見つめ直していけたらいいなと思っています。

2. 生活の状況

千葉大学からの留学生は4年ぶりのうえに私一人、日本人の留学生も4人ということで、初めの数か月間とても寂しい思いをしながら生活をしていましたが、色んな人に支えられて今では楽しく生活をする事ができています。アメリカならではの様々なイベントに参加したり、旅行ができていてとても充実した日々を送っています。

✓ Traveling

<Florida>

ディズニーワールドとユニバーサルスタジオフロリダに行ってきました。

ディズニーに関しては4つのパークがあり、とにかく大きかったです。ディズニー好きは絶対行くべきです！



←ディズニーEpcot とユニバーサルスタジオ

<Boston>

ボストンキャリアフォーラムという海外で生活している学生に向けての大きな就活フェアがあるということで、行ってきました。基本的にはその場で就職が決まるイベントのため、2年生は行ってもすることがないと言われていましたが、いい刺激を受けました。



<Washington D.C.>

バスで 20 ドル、ニューヨークから 4 時間ほどで行けます。スミソニアン博物館がすべて無料で見学できるなど、数日の旅行に最適な場所です。

<Pennsylvania>

父の知り合いの家に遊びに行きました。クリスマスオーナメントをツリーにつけるお手伝いをするなどアメリカ人家庭を体験することができました。

<Connecticut>

ストーニーブルックの隣町のポートジェファーソンから出ているフェリーに乗って、1 時間ほどで行けるコネチカット。日帰りプチ旅行として友人と行ってきました。特に見たいものがあって行ったわけではなかったのですが、とても素敵な場所でした。

✓ New York

<Halloween>



ニューヨークシティでパレードが行われるということで、がっつりハロウィンメイクをして参戦してきました。本格的な装飾がされたパレードは圧巻でした。そしてとにかく人が多かったです！

<SBU Life>

・ UNICEF のクラブの一員として活動しています。選挙に出て、イベントコーディネーターという役職を獲得し、クラブの中心メンバーとして活動しています。



<New York City>

- ・やっぱりニューヨークの景色は最高！



- ・夢のティファニーで朝食を



2年間の改装工事のため、12月いっぱいだったん閉店したティファニーのBlue Box cafe。そのカフェに最終日滑り込むことができました。とても素敵な空間でした。

- ・年越し in Times square



12時間待ち続けてやっとの思いで見られたタイムズスクエアのHappy New Year。一生に一度は行って見たかったので、行けてよかった！近くに留学する人はぜひ行くべきです！



留学した一つの目的として、エンターテイメントについて深く学びたいということがあるのでそれについての知っておくといいい予備知識をこちらに記載したいと思います。

<Musical>

ただミュージカルの紹介をするだけでは面白くないので、知っとくといいい知識をここで共有したいと思います。ミュージカルというと高い！という印象がありますが、実はとても安くみられる方法があるんです。毎日サイトでミュージカルの抽選をやっていて、それに当たると、2万円ほどのチケットが3000円で買えます。なんてお得！また、オズの魔法使いで知られているオズの国のもう一つのお話、Wicked は人が直接する抽選もしています。抽選は外れてしまった、、、という人にお勧めしたいのはタイムズスクエア内にある tkts というところです。当日のチケットでも安い且ついい席を確保することができます。また、当日に自分が見たいミュージカルの劇場に直接足を運んでみることもお勧めします。当日でて

いるキャンセルチケット(たいていキャンセルされるチケットはいい席のものが多い)を取り扱っていることが多いです。他で買うのと違い、2000円ほどのサービス fee も不要なため、お勧めの購入手段の一つです。その他にも rush tickets と呼んで、当日劇場に並び、先着順で安いチケットが手に入るミュージカルなどもあります。

<Movie>

大学内で最新の映画を上映するイベントが定期的に行われたり、5ドルで鑑賞できる映画館があったりと映画鑑賞が盛んなアメリカ。今回はそんなアメリカで登録しておくとお勧めのものをご紹介します。それは AMC という大きな映画館会社が提供している AMC list というものです。それに登録すると、月 24 ドルで週に最大 3 回の映画をみることができます。最大限活用したとすると、1 回 2 ドルで映画鑑賞ができる計算になります。またポップコーンが無料でもらえるなど様々な特典が付いてきます。ニューヨークには AMC の映画館が 20 近くあるので好きな時にぱっと立ち寄れる身近な存在です。

<Museum>

ニューヨークにはたくさんのミュージアムがあります。有名なミュージアムは無料の日を設けていることが多くあります。その一つが MoMA です。例えばゴッホの「星月夜」、アンリ・マチスの「ダンス」は、一度は教科書などで見たことがあるのではないのでしょうか。その他にも Guggenheim Museum や Whitney Museum など入場料が無料になる日があります。ミュージアムに行く前にどの日が無料なのかぜひ確認してみてください。

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2020/2/1 ～2020/5/20)

留学の報告もついに最終回になってしまいました。長いようで短かったこの9ヶ月弱。新型コロナウイルスの影響で最後の数ヶ月は予定とは異なる留學生活を送りましたが、貴重な経験になりました。今回の報告書ではアメリカが新型コロナウイルスとどう向き合っていたかということについて言及しながら、私の留學生活のまとめについて紹介していきたいと思います。

1. 勉学の状況

以前紹介したように、ストーニーブルック大学は二学期制になっています。今回は留學の後半の学期である spring semester について述べていきたいと思います。spring semester では5つの授業を履修しました。以下、各授業について紹介していきたいと思います。

1.CHE383 Introductory Synthetic and Spectroscopic Laboratory Techniques

分離、精製、合成、分析の方法を含む化学の実験を行う授業でした。無機系の問題を導入した有機化学に重点を置いている講義で、実践的な内容を学ぶことが出来ました。英語を使って lab partner と共に協力しながら実験を行っていくのはとても新鮮な経験でした。

2.ARS281 Introductory Photography

本格的なカメラを使って写真について学ぶ授業でした。実際に撮影スタジオで写真を撮ったり、写真の効果について写真加工の観点から学んだりもしました。もともとカメラが好きでこの授業の履修を決めましたが、カメラについてより実践的な知識を身に着けることが出来ました。

3.AST112 Astronomy Laboratory

本来は天体観測をメインで行う授業でしたが、コロナの影響で天体観測は出来ずに終わってしまいました。その代わりに月、星、太陽、地球などに見立てた器具を使って距離を計算したり、見え方を観察したりという実験を行っていました。予定では星を観察するのがメインの講義となっていたため、開講時間が夜の7時~10時までととても遅い時間の授業でした。3人のグループで協力して毎週の課題を解いていました。計算量が多くとても大変でしたが、グループのみんなと一緒に解き方を考えながら作業を進めるのはとても楽しく、刺激になりました。課題が終わった時の達成感は今でも忘れられません。

4.POL201 Introduction to statistics

統計についての知識を身に着けたい、英語で統計はどのように教えられるのかが気になり受講を決めました。毎週課題や小テストがあって大変でしたが、最後にアメリカの貧困格差についての現状を統計学を使って研究出来たので達成感がありました。

5.AMS103 Applied Math in Technology

朝とても早い講義でしたが、内容が大変興味深く受講していました。現代社会を動かす技術を応用数学を使って解析していく授業でした。世の中に存在する技術について、どのように機能するのか？その技術はどのような問題を抱えているのか？その技術が社会に与える影響は？などという観点から技術を分析していました。具体的に議論した技術の項目としては GPS、デジタルデバイス（パソコン、スマートフォン、タブレット）、臓器提供、検索エンジン、Google マップ、インターネット、3D プリント、DNA 配列決定などがありました。

2. 生活の状況

ストーニーブルック大学では夏が約 3 か月、冬が約 1 か月、春休みが約 1 週間程の休みがあります。ここでは私の春休みの様子について紹介していきたいと思います。

私は春休みの期間、西海岸の方に旅行に行きました。アメリカの東側に位置するニューヨークとはまた違った雰囲気のアメリカを感じることができ、とても素敵な春休みを過ごすことができました。



<映画カーズの舞台になった街> カーズファンにはたまらない聖

地



<モニュメントバレー> 西部劇や CM でおなじみ



<セドナ> 人気のパワースポット



<グランドキャニオン> アメリカといえばの自然国立公園



<デスバレー> アメリカー広くて、暑くて、乾燥した国立公園

最後に新型コロナウイルスに対し、ストーニーブルック大学がどのように対応していたかを紹介していきたいと思います。

簡単ではありますが、時系列にしてまとめてみました。

3/7 頃 新型コロナウイルス蔓延危惧による授業のオンライン化の噂が流れる

3/9 頃 学内で授業のオンライン化を求める抗議デモ

3/10 頃 コロナ感染拡大懸念による授業のオンライン化決定

- ・寮、他の学内施設は引き続き利用可
- ・留学生は予定通り留学終了まで寮への滞在可

3/13~3/22 頃 春休み

- ・寮からの撤退命令、学内全施設の閉鎖発表
- ・大学内にドライブイン PCR 検査施設が設置される

3/22~3/29 頃 西海岸から戻り、荷物をまとめて帰国手続きを進めて日本に帰国

- ・寮に住んでいた留学生は自国に帰国
- ・ニューヨーク州が地元の生徒は各自実家に帰宅
- ・急遽オンライン化したことにより授業の始まりが1週間遅れる

この時系列からもわかるように、アメリカの新型コロナウイルスに対する対応はとても迅速だったように思います。今では感染者が世界一位のアメリカですが、私が滞在していた3月は感染者はそこまで多くありませんでした。数値的に感染者が出ていない段階から、オンライン授業への移行の判断がとても早かったなという印象です。授業がオンラインになるかもと噂されてから数日後には「授業のオンライン化への早い決断を」という抗議デモが学内で勃発し、とても驚かされました。その翌日にはニューヨーク州知事による正式な授業のオンライン化が宣言され、学内はいっきに殺風景になりました。春休みが始まる前日にはワイワイ楽しく会話をしていた寮の友人も、西海岸から戻ると全員寮を出ており、最後のさようならを言えずにアメリカでの留学生活が終わってしまいました。

街の様子も新型コロナウイルスが流行する前とはがらりと変わってしまいました。街のお店はほとんどクローズしており、空いているのは飲食店、スーパー、ガソリンスタンド程度でした。またレストランに関しては完全テイクアウト制になっており、椅子と机は利用出来ないようロープで括り付けられていました。また、スーパーに入る際も人数が制限されているなど感染対策がしっかりとしているという印象を受けました。感染者が爆発していない段階で、このような対応が取られていたので正直驚きながら最後の1週間ほど生活を送っていました。日本に帰国して数日後、アメリカのコロナ患者数が爆発的に増え、新型コロナウイルスの脅威を痛感させられました。日本で連日ニューヨークについてのニュースが流れていましたが、親しみのある通りや場所ばかりが出ていて胸が痛くなりました。

留学の後半は新型コロナウイルスによって、当初の予定とは異なる形で終了してしまいましたが、この状況でしかできないことを多く経験することができました。私が体験したコロナに対するアメリカの対応と日本の報道から読み取れるアメリカの現状には少し差異があり、その土地にいたからこそ知れた現地の現状がありました。

最後にこのような貴重な留学経験を実現して下さった留学生課、留学中に支えてくれた友人、応援して下さい下さった方々そして家族に感謝を申し上げます。